

劣化調査方法など学ぶ

コンクリート構造物研修会

県コンクリート診断士会

福井県コンクリート診

断士会（石川裕夏会長）

は15日、県職員会館でコンクリート構造物に関する研修会を開催した。

当日は協会員や賛助会員計25人が参加。冒頭、石川会長が「この研修会で得たものを自身の業務に役立ててもらえらばう

れしい」とあいさつ。引

き続き、金沢工大環境土木工学科の宮里心一助教授がコンクリート構造物の劣化事例をスライドで紹介しながら調査方法などにについて講義した。

この中で宮里助教授は「ひび割れは、形や長さなどで発生原因や補修方



会員ら25人が参加した県コンクリート診断士会の研修会

法に関連づけることがで
きる」とポイントを話す
とともに、診断報告書の
作成手順も解説した。
県内では国や県から診
断依頼が徐々に出てきて
いる状況とあって、参加
者は高度な知識を身に付
けようと、真剣な面持ち
で聴講していた。